

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成21年1月8日(2009.1.8)

【公開番号】特開2008-57182(P2008-57182A)

【公開日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-010

【出願番号】特願2006-234252(P2006-234252)

【国際特許分類】

E 0 2 D 17/20 (2006.01)

E 0 1 F 7/04 (2006.01)

【F I】

E 0 2 D 17/20 1 0 3 A

E 0 1 F 7/04

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月18日(2008.11.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

法面の地表に沿って網目状に張設した縦横のワイヤロープの上下と左右の端部及び交点を地盤に固定するアンカーにおいて、所要のアンカーが対象法面部位に対し 3 6 0 度の方位において直角状に埋設されていることを特徴とする落石防止用アンカー。

【請求項 2】

対象法面部位が上下方向に傾斜した面である請求項 1 に記載の落石防止用アンカー。

【請求項 3】

対象法面部位が上下方向に傾斜しかつ左右方向でも傾斜した面を含む請求項 1 に記載の落石防止用アンカー。

【請求項 4】

施工予定場所の地表に沿って縦横の系を所要間隔で張り、それら縦系と横系の交点をアンカーの設置場所とし、その交点において少なくとも 2 方向で地表面に対して直角方向を測定し、測定角度を基準線としてパイプアンカーが地中に打ち込まれている請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の落石防止用アンカー。

【請求項 5】

交点において少なくとも 2 方向で地表面に対して直角方向を測定する手段が、中心に棒状部材を貫通して打ち込むガイドパイプを備えた三脚状の治具である請求項 4 に記載の落石防止用アンカー。

【請求項 6】

アンカーとして本体先端部内側に推進力受け部を有するパイプアンカーを使用し、径が拡張可能なビットヘッドを先端に有しその後方に前記推進力受け部に当接可能なつば部を備えたビットとハンマー部および回転軸部を直列にした掘削アッセンブリーを前記パイプアンカーに挿通させ、ビットヘッドをアンカー下端外で拡張させた状態で回転軸部とハンマー部を介してビットを回転させつつ、前記ハンマー部の推進力をつば部から推進力受け部に伝えて打撃することで所要深さに達するまでパイプアンカーを推進させ、次いでビットヘッドを推進力受け部の内径より小さく縮径し、掘削アッセンブリーをパイプアンカー内から抜き取る方法で埋設されることを特徴とする請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載の

落石防止用アンカー。

【請求項 7】

アンカーは施工場所に据付けられる打ち込みフィード用の架台を介して埋設される請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の落石防止用アンカー。

【請求項 8】

アンカーが垂鉛あるいはアルミ垂鉛合金メッキが施されているパイプアンカーである請求項 1 ないし 7 のいずれかに記載の落石防止用アンカー。